

## ◆生育状況について

5月1日午後5時頃、管内で降雹があり若穂地区の一部で被害が発生いたしました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

現在の生育は、昨年より7日程度早い状況。今後も気温が高く推移する予報が出ており、生育はさらに早まる可能性があるため、園地の状況を確認して管理作業など遅れないよう注意する。

JA管内	ナガノパープル			シャインマスカット		
	発芽	開花	満開	発芽	開花	満開
平年	4/24	6/1	6/8	4/26	6/7	6/11
令和8年	4/15			4/17		
令和7年	4/20	6/4	6/8	4/22	6/6	6/11
令和6年	4/17	5/25	6/2	4/20	6/1	6/5

## ◆当面する重点作業について

1. 定期的なかん水を実施する。
2. 新梢が欠損した箇所は、誘引をし直し空間を埋める。また、段切りなど、適期に作業を進める。
3. 開花～袋掛けまでの期間は果実感染最重要防除期となる。適期に薬剤散布を実施する。

## ◆定期的なかん水について

1. 種あり巨峰の場合は、開花前から開花中でのかん水は控える。
2. 種なし品種の場合は、開花前～第1回ジベレリン処理の間は、定期的に灌水し土壌水分を一定に保つ。

## ◆第5回薬剤散布について

1. 散布時期：展葉8～9枚頃 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：2500以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	—
ペンコゼブ水和剤	1,000倍	100g	45日	べと病・晩腐病・黒とう病

3. 散布上の留意事項
  - 1) べと病の初発生を防ぐ重要な時期となる。吹き付けるように丁寧に実施する。
  - 2) 今回防除から第6回薬剤散布まで、間隔が空いてしまう場合は、キノンドー顆粒水和剤1,000倍（水100ℓ当り100g）の特別散布を行う。

## ◆第6回薬剤散布について

1. 散布時期：開花直前 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：3500以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	—
ⓂイカズチWDG	1,500倍	66g	21日	ヨコバイ類・スリップス類
オーソサイド水和剤	800倍	125g	30日	灰色かび病・べと病・晩腐病・白腐病

### 3. 散布上の留意事項

- 1) 房切による傷を保護するため、穂軸の内部までしっかりと散布する。
- 2) うどんこ病、灰色カビ病の発生が心配される園はオンリーワンフロアブル 2,000 倍（水 100ℓ 当り 50ml）を加用散布する。
- 3) イカズチWDGに代えてアーデントフロアブル 2,000 倍（水 100ℓ 当り 50 ml）又は、グレースシアフロアブル 4,000 倍（水 100ℓ 当り 25ml）又は、オリオン水和剤 1,000 倍（水 100ℓ 当り 100g）を使用してもよい。

### ◆種なしぶどう管理講習会開催について

下記日程により、開催致します。都合の良い会場にご参加下さい。

開催日	曜	集合時間	開催場所	担当
5月19日	火	午前 9:00	松代 五明公子様園	伊藤
5月19日	火	午前10:00	篠ノ井 東部 中村奨 様園 駐車はセンターの南側へ。	外谷
5月19日	火	午前10:00	更北 真島 小林芳春様園	根津
5月19日	火	午前11:00	川中島 今井 千野しげ子様園	松橋
5月19日	火	午後 1:30	篠ノ井 石川 南澤ひろ江様園	徳武
5月19日	火	午後 1:30	若穂 綿内 宮沢文広様園	根津
5月19日	火	午後 3:00	篠ノ井 作見 斎藤 義夫様園	徳武
5月19日	火	午後 3:00	若穂 綿内 安藤周三様園	根津
5月20日	水	午前 9:00	若穂 保科 伊藤哲也様園	伊藤
5月20日	水	午後 1:30	松代 東条 中村克己様園	伊藤

### ◆種なしぶどう管理について

1. 開花前摘心（着粒安定、果粒肥大効果）着粒安定、果粒肥大の必須作業、必ず実施する。

- 1) 時期：開花3日前～満開期（房切り時）
- 2) 100cm以上の新梢は、先端部分を軽く摘む（図1）。  
80cm程度しか伸びていない新梢も着房させる場合は摘心する。
- 3) ナガノパープルは、園地内で開花を確認し実施する（他の品種の摘心時期は多少前後してもよい）。



2. 開花前の花穂整理

- 1) 花穂先端の形状が確認でき次第、1新梢1花穂としてもよい。（ただし、作業に慣れていない場合は房切り時等に折れやすいので、2回目のジベレリン処理前までに1房とする。）
- 2) 形状がすらっとしている房で、下向き～横向きの花穂を残す（第1、第2花穂どちらでもよい）。
- 3) 生育の遅れている新梢や弱い新梢は早めに1花穂とするか空枝にする。
- 4) 着粒が心配される極端に強い新梢は2花穂残しておき、2回目のジベレリン処理前に1房に整理する。

### 3. 房切り（花穂整形）

- 1) 時期：花穂が伸びきり、房の上部が咲き始めた頃～満開期前（残した花穂が80%咲いた時）。
- 2) 花穂長の目安は

品種	開花始	満開時
無核巨峰・ナガノパープル・シャインマスカット ・クイーンルージュ®・ピオーネ・クイーンニーナ	3cm	3.5cm

- ①穂軸が太く先端がすらっとまっすぐな花穂を残す。
- ②先端が二股のものは、他に良い房がなければ、二股の片方を落として整形しても良い。
- ③扁平で帯状の花穂、先端がわん曲している花穂は落とすか、上段支梗（上から3～4段目）を使う。
- ④上段支梗を利用する場合で、最上部の支梗を利用すると、摘粒や袋掛け作業がやりにくいため、軸長が確保できれば、3～4段目の支梗を利用する。

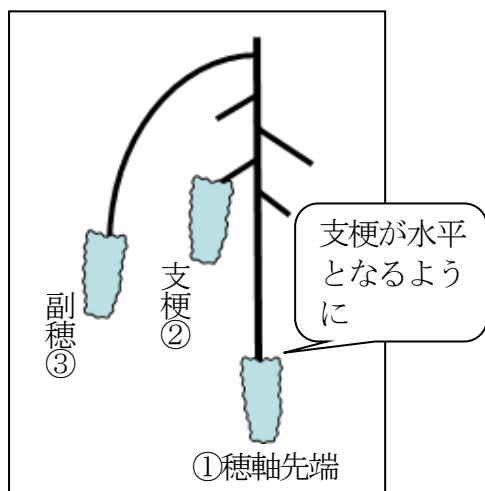


図2 穂軸は折れやすい！

房切りの順序は、次のように危険分散する。  
 まず、主穂先端部①を整形する。  
 →成功したら、①を利用する。  
 →①の整形時に穂軸を折ってしまった場合は  
 ②または③を整形する。（②は上から3～4段目）  
 注意点：副穂はできるだけ利用しない。  
 ①～③は開花期が異なる。  
 ②、③は開花期が早い。

### ◆種なしぶどう「新梢伸長抑制」液剤散布について

種なしぶどうの新梢伸長抑制対策技術として実施してもよい。使用回数は年2回できるが、開花前と満開後の併用（2回）使用した試験事例は少ないので、どちらか1回使用を推奨する。

1. 散布時期：満開後10～20日 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000l当り

農薬名	対象品種	使用倍率	調合量	10a当り 散布量
フラスター液剤	シャインマスカット	500～1,000倍	200～100ml	150～300l
	ナガノパープル	500倍	200ml	150l
	ピオーネ	500～1,000倍	200～100ml	150～300l

### 3. 使用上の留意事項

- 1) 果粒軟化期のタイミングで効果が切れると縮果症を助長する場合がある。

## ◆種あり巨峰管理について

### 1. 房作り（花房の切り詰め）

#### 1) 時期

1～2輪咲き始めた頃、花穂が黄色くなった頃で、満開1週間前（咲き始めの2日前）頃が適期。  
開花初めの展葉数は、強めの新梢13枚、中庸10枚、弱めの新梢7枚。

#### 2) 方法

①早くから行う場合は、副穂の切除からスタートし、満開までに穂先をつまみ取る。

②房切り後の花房の長さの目安

房切りの時期	房切り後の花房の長さ
開花7日前頃	4～4.5cm
開花始め	5cm
満開時	5.5～6cm

枝の強弱	摘房の程度
強い枝 (攻撃的なへびの頭部様の状態)	第1・第2の花穂を残す。 特に強い場合は、第3の花穂も残す。
中位の枝	念のため第1・第2花穂を残す。 結果的には第2花穂が良い。
中位の枝に次ぐ弱い枝	第2花穂のみとする。
さらに弱い枝	第1花穂のみとする。(第2花穂の無いときもある)
最も弱い枝	空枝とする。

③作業が遅れた場合は、上段の枝梗と穂先の切除を同時に実施する。

④短期間に効率よく実施するために、一通り誘引を行い、花穂を棚下に降しておく。

ただし、花穂が番線と接しないようにしておく。

⑤房先15～16段を目安に、支梗段が左右平衡（水平）になる部分まで落とす。

⑥穂軸の太いしっかりした花穂を残すが、棚下に向けた物を優先する。

### 2. 追肥

徒長を抑え、着粒確保を図ってきたが、満開期以降は一転して樹勢の強化充実・果粒肥大の対応を講じることが秋落ちを防ぐために重要となる。

1. 施肥時期：開花期間中に施す。施用していない園では早急に施す。

2. 施肥量：有機専科10a当り3袋・ノルチッソ10a当り1袋

3. 施用上の留意事項

①吸収を早くさせ果粒肥大等の効果を上げる為、雨の無いときは、かん水と併せて行う。

②樹勢に応じて施肥量を加減するが、樹勢の強い樹や葉色の濃い樹、新梢伸長の旺盛な若木やフリー樹、無核巨峰には施用しない。